關大
発行所
関西大学校友会
〒564-8680
吹田市山手町3-3-35
発行人　辻見重行
電話 06(368)1121代表
FAX 06(380)8476
振替口座00930-2-55594

日本の窓に、生活断熱
テルモア
YKK ap

一高〝マグマ〟爆発へ

野球部センバツ出場

昭和4年以来69年ぶりの快挙

関大一高硬式野球部の第七十回記念選抜高校野球大会の出場が決まった――一月三十一日午後五時五分、一高校長室へ選考委員会の結果の電話連絡が入り、積年の夢が実現した。昭和四年、前身の関西甲種商業学校として第六回大会に出場して以来の実に六十九年ぶりの快挙になる。アメリカン・フットボール部の全国制覇、サッカー部の全国大会出場に続き、一高にとっては〝盆と正月が一緒に来た〟トリプル栄光である。

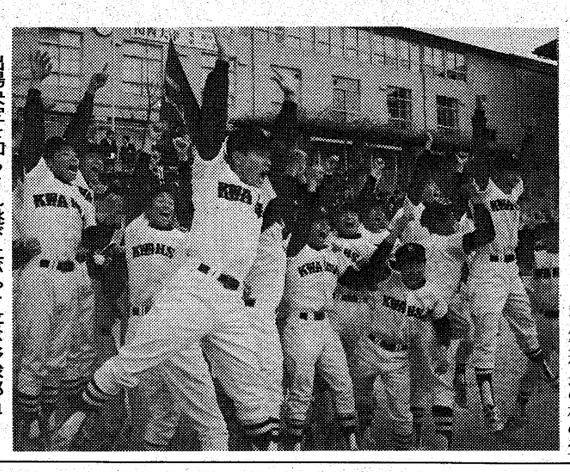
センバツ選考日の三十一日、一高の校長室は午後四時ごろから報道陣が集まり始め、次第に人数はふくれ上がり、普段はゆったりした部屋もカメラの器材と人が〝占拠〟して異様な雰囲気に。長尾宏校長の机の受話器に大勢の視線が集まる。大西昭男理事長、森本靖一郎常務理事、池内啓三総務局長らの姿も。四時半が過ぎ、五分、十分と時計が進む。だれかが「遅いなあ」とつぶやく。カメラの放列の前で長尾校長の表情も固い。会話が途絶え、重苦しい空気になっていく。

五時五分、電話が鳴った。「謹んでお受けします」と長尾校長。フラッシュがたかれ、全員の表情が大きくくずれ、喜びの声が上がった。

朗報はすぐグラウンドにいた尾崎光宏監督と選手たち、スタンドで寒さに耐えながら待ち続けていた父母や生徒、教職員、OBたちに伝えられた。「やった！」と、大きな歓声、そして拍手。抱き合う人、携帯電話で知人に速報する人、校舎屋上から「祝　甲子園出場」の垂れ幕が下がった。

「出場伝達式」では、マイクを前に長尾校長が喜びの第一声。大西理事長、島野照章一高教育後援会長、藤原茂樹一高同窓会長、村上武夫硬式野球部OB会長と祝辞が続いた。〝朝礼台〟に尾崎監督が上がった。「胸がいっぱいです。いい試合をしてベスト8を目指したい」。相良雅文野球部長は「関西学院高等部の出場も決まった。昨年の高校関関戦では1―1で引き分けたが、甲子園で決着をつけたい」と声をはずませた。横山央宣主将は「はつらつとしたプレーを」と、元気に〝宣誓〟した。

スタンドで待機していた一中・一高ブラスバンド部員たちが学歌に続いて「関大マグマ」を力強く演奏。島野教育後援会長の「大阪の雄、一高　いよいよ関大マグマの爆発だ」のことばどおり、三月二十五日から始まる大会での一高マグマの大爆発を期待したい。


出場決定を知らされ跳び上がって喜ぶ野球部員

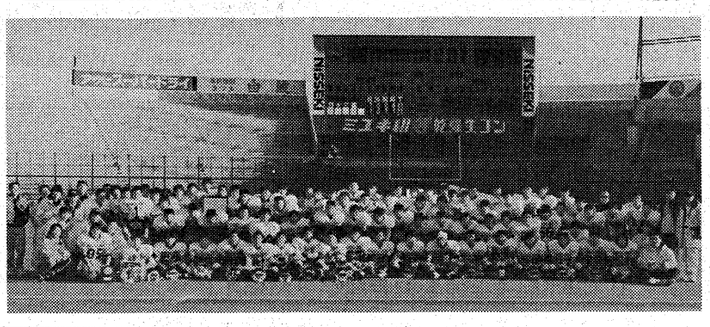
出場決定の電話連絡を受ける長尾宏校長

一高　22年ぶりアメフト高校日本一

アメリカンフットボールの第二十八回全国高校選手権大会決勝・クリスマスボウルは、十二月二十一日、川崎球場で行われ、関西地区決勝で関西大倉を退けて出場した関大一高が、関東代表で昨年優勝の日大三高を破り、一九七五年の第六回大会以来二十二年ぶり二度目の高校日本一に輝いた。

先制点を許した関大一はラン攻撃で反撃、第三クオーターで勝ち越し、第四クオーターでも、RB中谷健寿（三年）が93㍍独走してこの試合二度目のタッチダウン、日大三を突き放した。

優秀バックスに贈られる三隅杯は、236㍍走った中谷が、また優秀ラインマン（安藤杯）は、関大一の主将・梅谷明史（三年）が受賞した。



関大一（関西）21 0 7 7 ― 7 7 0 0 ― 7 6 13 日大三（関東）

部員85人で勝ち取った全国制覇

「ゴー・ヨン・サン……」の歓声がスタンドにあふれた。待ちに待った終了のホイッスル。一高アメリカン・フットボール部が手にした日本一の栄光。スタンドを埋めた五百人余の応援団は両手を突き上げ、拍手をし、興奮のルツボ。森本靖一郎法人常務理事、藤原茂樹一高同窓会会長の紅潮した顔も見える。

開始早々、タッチダウンを奪われ、キックも決められ7点のビハインド。重苦しい空気を破って一高のポイントゲッター中谷のタッチダウンと永渡のキックが決まり、同点。こうなれば一高ペース。後半、中谷が二回目のタッチダウン、キックも成功。残り七分で中谷が三度目の見事なタッチダウン、相手ディフェンスを振り切っての93㍍独走である。

部員八十五人全員で勝ち得た全国制覇は、我々に感動を与えてくれた。長尾宏校長、磯和雅敏監督の素晴らしい笑顔は、大仕事を成し遂げてくれた選手たちをたたえる気持ちが十二分にこめられていた。

関大一高教諭　豊島光男

ご高承のとおり、関西大学第一高等学校硬式野球部は、第七十回記念選抜高等学校野球大会への出場が決定しました。

昭和四年に前身校の関西甲種商業学校が全国選抜中等学校野球大会に出場して以来、実に六十九年振りの快挙です。

野球部関係者はもとより、我々といたしましても、これ以上の歓びはありません。

つきましては、この機会に選手諸君が甲子園で悔いなく健闘してくれることを祈念し、我々も応援体制をつくり、校友の皆さんにもご協力賜りたく、衷心からお願い申し上げます。

関西大学校友会会長　寺西　武

関西大学第一高等学校選抜高校野球大会出場について　お願い

選抜高校野球大会出場支援募金募集要項

◆金額　一口五千円（多数口お願いできれば幸甚です）

◆募金方法　郵便振り込みでお願いします。

◆振込先　〇〇九四〇―六―七六四九三「選抜高等学校野球大会出場後援会」宛

※試合当日、甲子園球場前国道43号高架下5号スパンに「関大一高」臨時入場受付を設け、「払込票」の提示により「入場券」をお渡しします。入場券は十分に準備しますが、万一、なくなりました場合は、ご容赦下さい。

◆問い合わせ先　関大一高選抜野球大会出場後援会事務局（〇六―三三七―七七五〇番）

98年度入試

〝冬〟でも6万4千人志願

法・総合情報が大幅減

後期日程　法学部も実施

本学の一九九八年度学部入学試験が二月一日、千里山キャンパスを始め全国一九カ所（うち新設は姫路・千葉）の試験場で一斉に実施。初日の日曜日は全学部（S日程）、二日から八日まで法、工、経済、商、総合情報、社会、文の各学部（A日程）の順で行われた。

昨年度より約七、六〇〇人（一〇・七％）少ない六四、二八二人が挑戦、各試験場とも大きな混乱はなく、無事終了した。合格者発表は二月十四日法・経済・商、総合情報、同十五日文、社会、工の各学部で、すべて郵送で通知された。今回から法学部も加わった後期（B）日程入試（第一部のみ）は、三月一日に経済、工各学部、同二日に法、文、商、社会、総合情報の各学部で実施する。試験地は、両日とも大阪、東京、金沢、名古屋、和歌山、姫路、岡山、広島、高松、福岡の十カ所。

志願者は六四、二八二人（一部六二、五七九人、二部一、七〇三人）。昨年度より七、六六九人の減で、十八歳人口の自然減、浪人人口の減少に加えて、長引く景気低迷で受験生が併願校・学部を手控えたのではと、入学試験部ではみている。

工学部は増加

学部別でみると、昨年度と比べて法学部（二、〇六〇人＝二五・三％）と総合情報学部（一、八〇一人＝二五・六％）が、大きく減少した。法学部は、ここ数年の全国的な社会科学系統の落ち込みの影響を特に受け、また総合情報学部は九四年度開設以来、他学部に比べ高い競争倍率を示し、受験生に敬遠されたのではないかと入学試験部ではみている。各学部が減少している中で唯一工学部が五・三％増加したのが目をひく。

試験地別では、大阪が一二・五％減ったものの、新設の姫路で八九七人が受験したのを始め、和歌山、松江、高松、松山などで増えており西日本で健闘している。

また浪人受験生の減少が目立った。第一部全体で、昨年度より五、八九五人減り、全体の減少率の八一％を浪人生が占めた。逆に浪人受験の比率が男子より少ない女子では、占有率は文学部五六・九％（昨年度比四・二ポイント増）、社会学部四五・三％（同三・五ポイント増）、商学部二六・〇％（五・一ポイント増）など全学部でふえている。

2部の志願者　4年間で半減

一方、第二部の志願者は一、七〇三人（昨年度二、一三三人）で、初めて二千人の大台を割り、一九九五年の三、四五四人と比べると四年間で半減した。

行事

'98スプリングフェスティバル

校友会が百周年記念行事として始めた「スプリングフェスティバル～桜の母校によっといデー～」は今年十三回目を迎え、大学の全面的な協力を得て、四月五日の日曜日、千里山キャンパスで開催する。昭和六十一年春、初めて開かれたスプリングフェスティバルには約一万人の校友とその家族が参加。中でも幼子を連れた若い校友のカップルが目立ったが、あの日両親に連れられて初めて関大を訪れた子が、もう一高や大学の入試相談に訪れる年齢になっている。初回から連続して総会や懇親会を開催しているゼミOB会やクラブOB会もあり、その数は年々増加。この行事も校友とその家族、教職員とOBに現役学生も含めたオール関大人の春のイベントとして定着した。今年もみんな揃って桜の母校によっといデー！

歓迎セレモニーと応援団の演舞演奏

◆第一グラウンド……午後一時から校友会長、理事長、学長の校友を歓迎する挨拶があり、続いて応援団三パート・ドリルによる演舞・演奏などが繰り広げられる。

◆開催日時　四月五日（日）午前十時～午後三時（時間内に自由に来学）

◆開催場所　関西大学千里山キャンパス（駐車場はないので電車をご利用下さい。阪急千里線「関大前」駅下車）

野点で歓迎、投句の用意も

◆大学院前芝生……野点会場（無料）を設営し、茶道部現役学生が〝おてまえ〟で参加者を歓迎。野点会場には短冊など投句の用意もし、その場で掲示する。

校友親子の進学相談

何でもコーナー開設

◆新関西大学会館北棟・ロビー……学部をはじめ一高・一中への進学に関する校友親子の何でも相談コーナーを開設。専門の教職員が相談にのってくれる。関大や一中・一高への進学を希望するお子さんをお持ちの校友は、家族揃って気軽にお立ち寄り下さい。

4月5日(日)千里山キャンパスで開催

主な見学施設

春季展「私家版」を開催

◆総合図書館……一階展示室では春季展「私家版」を開催している。十九世紀のイギリスの美意識を本の製作に結集して生まれた「世界三大美書」。この三点を中心に三大美書の製作者の一人であるウィリアム・モリスが設立したケルムスコット・プレス及び他の私家版印刷工房が刊行した資料約三千点を展示する。

企画展「縄文時代の狩猟と生活」を開催

◆博物館……重要文化財十六点をはじめ、考古・歴史・民族等の貴重な資料約一万五千点を収蔵し、約二千点を常設展示している。

第二展示室では、当日から本年度企画展「縄文時代の狩猟と生活」を開催。縄文時代のくらしの中で狩・漁・採・祭に焦点をあて、石鏃の刺さった猪の頭骨など獣類や様々な石器類、土器類等、重文を含む貴重な資料を企画展示する。

「絵入り本の系譜（仮題）」展を開催

◆新関西大学会館北棟・アートギャラリー……絵巻物に始まるわが国「絵入り本」の系譜を、奈良絵本や近世の絵入りの読み物（黄表紙・青本・黒本）を中心に、文学史と印刷史の双方の視点からまとめた約百点の資料を展示する。

大阪まちなみ賞奨励賞受賞

◆一〇〇周年記念会館……平成元年十一月竣工。緑のキャンパスに溶け込んだ親自然のやさしい建物として第十一回大阪まちなみ賞の奨励賞を受賞（雨天の場合は、午後一時から第一グラウンドで行う「行事」を一〇〇周年記念会館ホールで行う）

〈続きは4面に掲載〉

初戦で敗れる

全国高校サッカー

第七十六回全国高校サッカー選手権第二日の一月二日、初出場の関大一高は横浜・三ツ沢球技場で神奈川代表の逗葉高と対戦、1―3で敗れた。

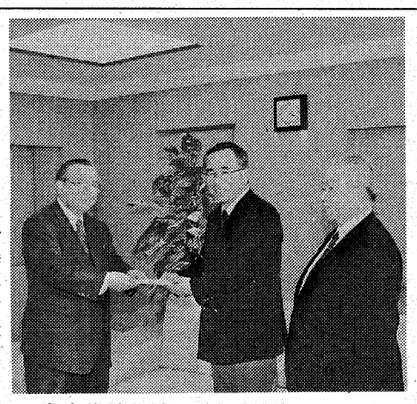
大阪地区予選決勝で強豪・近大付属を1―0で破り、初の全国大会出場を果たして意気上がる一高だったが、雰囲気にのまれたのか、普段の実力を出し切れないまま、初戦突破はならなかった。

オレンジシガ留学生基金

300万円を寄付

オレンジシガカントリークラブの中川良雄常務取締役と篠原昭三理事が本学を訪れ、「オレンジシガ留学生基金」の充実にと、三百万円を森本靖一郎常務理事に手渡した。

平成元年の第一回目の寄付以来、通算九回目で、同基金の総額は二千七百二十九万一千五十円になった。


森本常務理事（左端）に寄付金を手渡す中川常務。右端は篠原理事

会と催し

▽寝屋川支部総会　2月21日（土）午後6時　ひらかた仙亭

▽原田憲先生を偲ぶ会　2月21日（土）午後6時　新阪急ホテル・紫の間

▽関大法曹会研究会兼総会・司法試験合格祝賀会　2月26日（木）午後5時半　西天満・とり菊北店

▽中央南支部創設40周年記念総会　3月1日（日）午後5時　ホテル日航大阪32F・ジェットストリームの間

▽関西大学体育OB会総会　3月7日（土）午後1時　千里山キャンパス・一〇〇周年記念会館

▽神奈川支部平成10年度新春懇親会　3月7日（土）午後1時　新横浜駅前・フジビューホテル

▽関西大学井上宏ゼミOB会第7回総会　3月8日（日）午後2時　新阪急ビル12階・スカイルーム

▽摂津支部総会　3月15日（日）午前11時　摂津市総合福祉会館

▽平成9年度学部卒業式　3月20日（金）一部七学部は午前11時・千里山キャンパス第二体育館　二部五学部は午後六時・同キャンパス一〇〇周年記念会館

▽愛媛東予支部総会　3月22日（日）午後5時　今治市・ケーオーホテル

▽第69回定例代議員会　3月28日（土）午後1時半　千里山キャンパス一〇〇周年記念会館

葦の雫

節分に豆を撒く由来を辿ってみると極めて古くからある▼古事類苑によると「節分ノ夜大豆ヲ打事ハ、宇多天皇ヨリ始レリ、鞍馬ノ奥……二頭ノ鬼神、共ニ出テ都ヘ亂レ入ントシケルヲ……三斛三斗ノ大豆ヲ熬テ鬼ノ目ヲ打ハ」（撮嚢抄）とある。この古記を信ずれば、我が国では宇多天皇の昔から始まる。しかし、これも恐らく古来中国で大豆を撒いて厄払いをしていた呪術を取り入れたものと思われる▼大豆のほか、「唐土にも今夜赤丸（あづきの事也）と五穀をまく事、後漢書の註に出たり」（改正月令博物筌）とみえ、唐土で小豆と五穀を撒いていた。我が国でも小豆を撒いていた地方があったようだ▼又、「節分大豆打役昭心、カチグリ打、アキノ方、申ト酉ノアイ也」（花營三代記）とあり、大豆、勝栗を撒いている。勝栗は「カチ」の音が「勝」に通じるため、特に武家においては縁起を担いで使われた▼又、類似の呪術に散米（さんまい）というのがある。源氏物語絵（徳川家本）横笛巻に「うちまきし散らしなどして乱りがはしきに」と、夜半米を撒き散らし物の怪を退散させる有名な場面がある▼このように大豆を主とし小豆、勝栗、米等を撒く風習が古くからあるが、穀物の一粒には生命が育つ程の高い栄養素があり、それが強靱な呪力を発し悪鬼を駆逐すると考えていた。特に大豆は穀物の中の王者であるため、大豆を撒く事が一般化し今日に伝わる。現今の不況も大豆の呪力で駆逐したいものである。

内外国特許・商標・出願全般
特許侵害事件
鮫島国際特許事務所
所長・弁理士　鮫島武信
大阪市西区北堀江一丁目七番三号
大花興産ビル2F・3F
（四ッ橋交差点西角地下鉄四ッ橋線四ッ橋駅中央西出口横）
電話　大阪　〇六（五三一）七四三一（代）
ファックス　〇六（五三一）七四三五

80年の歴史に支えられたハンドメイド紳士服の最高峰
Kitahama KATANO 1918
株式会社カタノ
大阪市中央区北浜2丁目1番21号
〒541-0041　北浜カタノビル1F
☎(06)231―0565～7
近鉄百貨店紳士服特選お誂えコーナー
上本町店・枚方店・奈良店・橿原店

母校千里山キャンパスで
くつろぎながら新グルメ！
関西大学のキャンパスで、ゆっくりと食事できくつろぎと語らいのある新しい空間創りをめざしています。
来校時やOB会などに是非ご利用下さい。

新関西大学会館 南棟
営業時間
3F ピザ&パスタの店 クークーハウス 11:30～19:00
4F 洋食レストラン ボンプラット 8:30～21:00
☎06-368-7553（パーティのご予約も承ります）

今、「新・21世紀」へのチャレンジ。
店舗の企画・設計・施工　建設業許可　大阪府知事　第43417号　株式会社オカダ
不動産プランナー　宅建業免許　大阪府知事(3)第40169号　株式会社岡田本社
FOR NEW NOW OKADA
●事業本部　〒578-0965　東大阪市本庄西1丁目117　TEL(06)746-1351(代)　FAX(06)746-1352
●本社　〒540-0003　大阪市中央区森ノ宮中央1丁目16―17　TEL(06)942-2651(代)　FAX(06)942-2670
代表取締役　岡田誠一（昭34商）
宅建主任者　岡田由美（平2商）

ホテルマーレのパーティープラン
4月30日まで
宴会場プラン（20名様より）
お一人様 4,000円・5,000円・6,000円（税・サ別）
●お料理11品●
飲み放題プラン 1,500円 ビール・ジュース ウーロン茶・サワー
乾杯用シャンパンプレゼント
カラオケプラン（4名様より）
お一人様 3,500円（税別）
お料理9品＋フリードリンク＋室料2時間
（ビール・サワー・ソフトドリンク）
◀20名様以上で、ポラロイドカメラ無料貸出し・フィルム10枚付▶
阪急千里線南千里駅前　ご宴会・ご宿泊に関するお問い合せは
ホテルマーレ南千里 ☎06-872-1911

校友会新年互礼会

過去最高の227人出席

校友会主催の新年互礼会が、一月十三日午後六時から大阪・梅田の新阪急ホテル「紫の間」で開かれ、大学関係者、国会議員、府県会・市議会議員をはじめ、校友会執行部、地域・職域・同期会・各種団体など校友会組織の代表ら過去最高の二百二十七人が参加した。

学歌斉唱のあと中上校友会副会長の開会の挨拶に続き、寺西校友会長が「校友会活動は年を重ねるごとに活発になり、北海道から沖縄まで全国各地で校友が集い、交歓しながら親睦をはかっている。一人々々の努力の積み重ねが、校友会を守り、ひいては母校を守ると、挨拶。石川学長は「厳しい時代だが、より優秀な学生を集め、教育改革に一層の努力をして二十一世紀をリードする人材を輩出するようつとめたい」と、母校の一層の飛躍に意欲を示し、森本法人常務理事は「財政の健全化につとめながら、教室の全面冷房化など施設面での充実も着々と進んでおり、みなさん方の誇れる母校にするべく努力している」と、具体的な数字を示しながら力強く祝辞を述べた。

植垣・校友会顧問の乾杯の音頭で祝宴に入った。用意された二十四のテーブルは満席で、着物姿の女性校友も。現役応援団吹奏楽部の演奏が流れる中、新年初めての顔合わせとあって校友たちの話が弾んだ。不況の厳しい風が吹き荒れているとはいえ、今年こそはの期待もこめて出席者の表情は意外と明るく、フィナーレの逍遥歌合唱の声も元気いっぱいだった。

一軸校友会副会長、山本法人評議員会議長のリードで万歳を三唱、寶田校友会副会長の閉会の挨拶でお開きになった。

現役応援団のリードで今年最初の逍遥歌を合唱する校友たち

支部の動き　北から　南から

生駒支部

20周年事業を提案

具体化への協力要請

平成九年度生駒支部総会が一月二十五日、茶せんの里として全国的に有名な生駒市高山町の「くろんど荘」で開催された。本部から寺西会長と辻見事務局長を迎え、校友二十一人参加のもと和やかな雰囲気のなかで議事が進行した。

学歌斉唱から物故者への黙祷を経て、寺西会長から母校と校友会の現状について詳細な報告があり、その後西野支部長から二年後に迎える当支部の二十周年記念事業の提案と、具体化への協力依頼があった。懇親会までの約一時間を生駒市在住の母校工学部今井名誉教授による「血液の構成成分と検査」と題する講演をいただき、参加校友は久し振りに授業を受けているような気持になった。

懇親会では、今回新規参加された四人の校友から自己紹介のあと約二時間、楽しく懇談。午後三時過ぎ閉会した。この間、当支部に定着している山行の会から、二月十五日、金剛山登山の案内があり、約十人の予定で実施が決定された。

（中田浅昭）

▲総会に出席した校友たち

西成支部

年賀交歓会で

支部発展祈願

西成支部恒例の年賀交歓会が、一月十一日開かれた。交歓会に先立ち、「天神の森天満宮」で、この一年の会員の無病息災と支部の発展を祈願＝写真。このあと午後五時から「祇園寿司本店」に中西支部長、西野幹事長はじめ平成六年卒の宮崎、作田両君ら二十一人が集まった。

中西支部長は、会員相互の連帯と相互の扶助を一層深めたいと挨拶。交歓会に入り吉村副支部長の音頭で乾杯し、全員が近況を織りまぜながら自己紹介。ビンゴゲームなどで大いに盛り上がった。学歌、逍遥歌を合唱して午後八時半、散会した。

（川畑任永）

学長スピーチに感銘

猪名川支部

猪名川支部（清水孝晏支部長）は、平成九年度総会を十一月二十九日、町内北田原の高齢者福祉施設「ゆうあいセンター」で、母校から石川学長、校友会本部から中上副会長、また近隣支部から川西、尼崎、宝塚、西宮、伊丹、箕面、池田、北摂丹波の各支部役員諸氏、さらに就任早々の地元猪名川町長真田氏を迎え、総勢約四十人が参加して開催した＝写真。

総会は、物故校友の冥福を祈る黙祷に始まり、学歌斉唱。清水支部長が「今後、組織の活性化を通じ、地域社会発展のためのブレーンとして、いかにその役割を果していくか、話し合っていきたい」と力強く挨拶した。当地在住の石川学長から国内の大学群の中で確固たる地位を占めつつある母校の現況に触れる祝辞があり、誇りある「われらが関大」を再認識し、感銘した。近隣支部を代表して松島尼崎支部長、渡辺宝塚副支部長から祝辞をいただいた。真田町長からは支部校友の地域社会への貢献に対する感謝の挨拶が述べられた。

議事に入り、八年度の事業活動、会計報告があり、それぞれ異議なく承認可決された。

第二部の懇親会に入り、富永名誉支部長の発声による乾杯で開宴。会食しながら懐旧談議に花を咲かせ、恒例の余興・ビンゴゲームに興じた。景品には、色とりどりの鉢植えの花類のほか、校友が持ち寄った農産物、特撰の地酒等が並び、溜め息や爆笑の中、しばし童心に返った。逍遥歌を高らかに合唱。記念撮影ののち、散会した。

当地区は、阪神間における自然に恵まれたベッドタウンとして開発が進み、校友数も支部発足満十一年で三百人を超えた。年次総会への参加者は、校友の増加にも拘わらず伸び悩みの状態で、総会のあり方を組織の再構築と併せて次年度への課題としている。

（平井達也）

茨木支部

新春懇親会に若い

女性校友も出席

校友会茨木支部（秋田豊藏支部長）の平成十年「新春懇親会」が一月十四日午後七時から茨木市上中条の料亭「幸月」で開催され、校友の近江巳記夫衆院議員、坪井一宇参院議員代理（吉本孝秘書・校友）、山本末男茨木市長、木本保平茨木市議会議員、池田敏雄関西大学法学部教授らが来賓として出席、校友四十人が参加した。

秋田支部長の愉快で深みのある挨拶で始まり、来賓祝辞の後、木本市議の発声で、母校の発展と茨木支部の飛躍を祈って乾杯した。

会場は同窓という顔見知りばかり。政治不信も金融不安も不透明な世情もふっとんで、あっちでも、こっちでも思い思いの話に花が咲いた。今年は若い女子卒業生が二人出席して職場での活躍ぶりを披露、頼もしさを感じた。

あっという間に午後九時となった。校友は逍遥歌に若き日の夢を想い起こしながら熱唱＝写真、再会を約して散会した。

（坂本寿栄子）

滋賀支部

総会は7月26日

賀詞交歓会で発表

滋賀支部恒例の賀詞交歓会が一月十日、大津駅前の「かすが」で開かれた。年ごとに参加者がふえ、今年は八十人を超えた。

大津在住の佐々木社会学部教授、信楽町在住の篠原法人監事から母校についての簡単なスピーチを頂きながら宴に入った。十人ずつのテーブルを八卓用意したが、遅れて来た参加者は補助席を作るという、うれしい誤算に幹事は大喜び。

今年の抱負や来るべき新世紀への夢などを大いに語り校友間のつながりを強めた。平成卒業の参加者も二割を超えた。席上今年の支部総会の日程が発表され、「七月二十六日（日）、ロイヤルオークホテル」に決定した。

（坂口康一）

参加者が増えた滋賀支部賀詞交歓会

吹田支部

交歓の機会を

増した忘年会

吹田支部（佐々木砂夫支部長）は、十二月五日午後六時からサンクス一番館の牡丹苑で恒例の忘年会を開き、前校友会長の植垣幸雄支部顧問、杉本庄七議員参与をはじめ二十七人が出席した。

支部忘年会は昨年から役員の他にゴルフ大会や吹田サロンの参加者にも案内状を送付、総会以外でも会員が交歓できる機会を増やしていくことにしており、今回も新しい顔ぶれの忘年会となった。

挨拶する吹田支部の楓副支部長

楓寿穂副支部長の開会の挨拶の後、中川卓三幹事長から総会決算報告・支部会計報告・常任幹事の選出について提案があり、原案を拍手で承認。植垣顧問の乾杯の音頭で懇親会に移り、新しく副支部長に就任した寺辻健治氏の就任挨拶、大倉幾三郎ゴルフ委員長からの活動報告が行われた。

今回は女性の参加者が一人だけと少なかったが、歓談は尽きず予定時間をオーバー。最後に畑中公太郎常任幹事のリードで、全員肩を組んで逍遥歌を合唱し散会した。

（有澤　潤）

糖尿でお悩みの校友に！

《蕉子掌》をお薦め申し上げます。

一飲用一カ月で血糖値191が112に、ヘモグロビンA1c値も9.7が7.6に改善されました。永年の悩みだった高血糖がわずか一カ月で改善された結果に大変驚いています。…」

明石市　福永様（70歳・会社役員）

北京大学は漢方薬草《蕉子掌》に画期的な血糖降下作用を発見、我が国の臨床試験でも顕著な改善効果を実証、日本特許も取得した。専門医も注目する話題の新成分です。

《蕉子掌》に関する資料をご希望の方は、下記フリーダイヤルにて、ご請求下さい。…秘密厳守・無料ご送付申し上げます…

倉幾三郎ゴルフ委員長からの活動報告が行われた。

今回は女性の参加者が一人だけと少なかったが、歓談は尽きず予定時間をオーバー。最後に畑中公太郎常任幹事のリードで、全員肩を組んで逍遥歌を合唱し散会した。

（有澤　潤）

ヘルスケア糖尿病研究会 0120-090-358

友好の絆を確かめ合う

京都支部

各ブロックごとに懇親会

京都支部の各ブロックの懇親会が各地で開かれた。

〔北部ブロック〕十一月二十九日・福知山「万助荘」・二十九人出席

坂上支部長、熊本幹事長のほか諸幹事を始め、地元校友、また遠路舞鶴、宮津、丹後の校友が初冬の山陰路に集合した。

母校の廣田君美名誉教授の演題「現代社会と人間関係」の話に出席者全員感銘したり、反省したりして拝聴。

椿野幹事の司会で懇親会開始。坂上支部長の挨拶、全員の記念撮影に続き、物故者校友に黙祷をささげた。福知山地区の長老竹下先輩の乾杯の音頭で、各テーブルは一斉に懇談。校友との談笑の中、走馬灯のように千里山の学生時代を思い起こし、最良の年代を懐かしんだ。

逍遥歌を合唱し、川戸校友のリードで万歳を三唱した。世話人一同、若い校友の出席の少なかったことを反省し、次回から対策を講じることにし、来年の丹後での再会を約して散会した。

（稗田睦美）

〔中京・下京・南ブロック〕＝十二月二日・ちゃんこ「横綱」・十四人出席

開催場所が近くの上、小集会というイメージに誘われて初めて参加した。

半数以上の方が私が生まれた年以前の卒業生と聞き驚いたが、楽しい一時を過ごすことができた。このようなごぢんまりとした集まりなら、私のような若輩者も参加しやすいと感じた。

（大西康治）

〔西京ブロック〕＝十二月六日・嵐山「渡月亭」・三十一人出席

初冬の嵐山、観光客であふれた昼間の喧騒が嘘のような静かな佇まいの中、今日もあの人が、あの顔が三々五々集まってきた。五回目を迎えたこの懇親会、皆勤出席の坂上支部長を始め常連あり、新顔あり。すき焼きの鍋を囲みながら母校関大で結ばれた友好の絆をしっかりと確かめあった。

初参加の校友からは幹事のもとに、次回からの参加を楽しみにしているとの嬉しい便りも届くなど、すっかり定着したこの会が次回も「十二月第一土曜日」で古川校友に予約も取り付け、また周辺校友の参加を出席者各位に呼び掛け、盛会裡に散会した。

（天白洋司）

▶福知山で開かれた京都支部北部ブロック懇親会

北摂丹波支部

三役全員が留任

組織の強化確認

北摂丹波支部第十一回総会が十二月五日午後七時から三田市内「ももたろう」で開かれた。校友会本部から一軸副会長、藤本事務局次長、箕面・伊丹・宝塚・猪名川各支部代表が激励にかけつけ、総勢四十人の参加となった。

山門支部長が力強く挨拶を行い、支部の発展へ協力を訴え、「会費納入会員が二百人、名簿上千二百人をこえる校友が活躍している。校友会本部から十月の校友総会で感謝状が贈呈され、支部の活性化をはかる絶好のチャンス」と述べた。

四十人が鍋をかこんで忘年会風の懇親会に。初参加者の自己紹介を交えながら旧交をあたためた。

役員選出では現三役が留任し二年間みんなの先頭にたって組織強化をはかることが確認された。

午後九時半に懇親会を終了し、殿勝顧問の閉会挨拶で幕を閉じた。

（山門喜久雄）

四條畷支部

支部名簿作成

総会で決める

四條畷支部（松岡均支部長）は、十一月二十九日午後三時から四條畷市内の「くるまや」本館で、校友会本部から寶田副会長を来賓に迎え、十六人が出席して総会を開いた。

平成十年度の活動方針について白熱した議論をかわし、停滞気味である支部活動を見つめ直し、「コミュニケーションのとれた支部づくり」をめざすことになった。その第一歩として①年会費の徴収を市内在住の全校友レベルで実施②支部名簿をつくり、ダイレクトメールで配布する――ことを決めた。

懇親会に移り、旧交を温めながら、和やかな雰囲気の中、楽しい懇談が続いた。

（橋本和昌）

守口支部

次回総会をスプリングフェスで

守口支部（菊池清支部長）は十一月二十九日午後六時から守口駅前の「柿右衛門」で総会・懇親会を開いた。

近隣支部の支部長を始め来賓の方々と会員の総勢三十人が出席。菊池支部長の挨拶の後、会務・会計報告などがあり、総会を終了した。

引き続き懇親会に移り、大川原興一氏（昭9経）の乾杯の発声で開宴。鍋を囲んでの近況報告や、低迷する日本経済への不安などを語り合った。

次回の総会は、桜花爛漫の母校で開催の「スプリングフェスティバル」に集うことになり「来春四月五日・千里山キャンパス」に決定した。

（浜上知之）

備後支部

支部長に赤松氏

新年会盛り上がる

備後支部は恒例行事となった新年会を今年も一月三十一日、福山市内で開催した。有志の集いであるが、備後支部通信（年一回発行の機関紙）で内容紹介を行っている成果で三十三人（うち女性一人）が集まり、楽しい一時を過した。

新年会の前に、昨年逝去された長谷川支部長の後任となる新支部長を決める役員会を開催、全員一致で赤松治美氏（34学一法）が選出された。

新年会では新支部長を囲み、初参加の方を始め、全員の自己紹介をしたり、「混沌の時代」と評される一九九八年をどのように生きるか考えるテストゲームを行うなど、楽しむだけでなく有意義な一時だった。参加者全員が盛り上がり、予定の終了時刻を大幅に延長し、今年の健勝を誓って散会した。

（濱田宏志）

淀川支部

鍋をつついて異業種交流忘年会

淀川支部と「異業種交流」の合同忘年会が、十二月二十三日、プラザオオサカ三F・花伝で開宴、支部会員二十一人、異業種関係参加六人の合わせて二十七人が集まった＝写真。池田支部の古川智支部長が、本紙の異業種交流の記事を見て初参加された。

自動車紹介制度で財源豊かな淀川支部、参加者全員の会費の一部を負担。さらに抽選で一等から十等までおみやげも財源から還元された。鍋をつついての団欒は、一年の締めくくりにふさわしく、話に花が咲いた。

来年の四月の総会は役員改選の年になるが、本間弘一支部長を中心に支部誕生当時の苦労が嘘のように、現在はすっかり軌道に乗った〝安全車両〟となった。今後は異業種交流の輪をさらに広げ、ビジネスにつながるように工夫していきたい。最近では、独身校友や校友のお子さんの縁結びのお手伝いも。人のお世話をしながら自身の幸せに結びつくような気持にもなった一年だった。

（後藤作夫）

茨木支部が和歌山へバスツアー

茨木支部（秋田豊藏支部長）は、校友相互の親睦を深めるため、十一月十五日、二十二人が参加して和歌山方面へ第三回「日帰りバスツアー」を行い、晩秋の一日を楽しんだ＝写真。

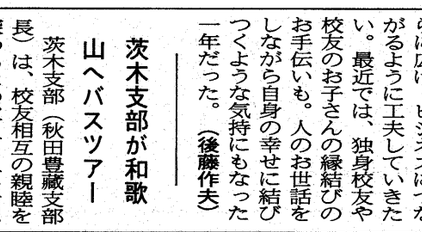
午前九時、大型観光バスで茨木を出発。吹田インターから近畿自動車道を走り、十一時過ぎ和歌山城公園に到着した。

さっそく和歌山城を目ざし天守閣（鉄筋三層・三階）まで、約二十分近くかかった。天守閣で物産展示館、紀州徳川家の所蔵品など約一時間かけて見学した。

焼肉店「左近」で昼食をとる。この店は焼肉店だが、めん類、すし、ビール、チューハイ、デザートなど飲み放題、食べ放題とあって、みんなごきげんだった。

午後二時半、和歌山を離れ帰途につき、途中、泉佐野市の海岸通りにある青空魚市場に立ち寄り、生きたタコ、エビ、タイなどをおみやげに買い、一路茨木へ。

（宮本秋男）



5月9日に関西大学博物館講座

講師は網干教授ら

関西大学博物館講座は、五月九日（土）午後二時から千里山キャンパス・新関西大学会館ホールで開催される。

テーマ＝「縄文時代の狩猟と生活」

講師＝網干善教文学部教授

山口卓也学芸員

校友短信

◆坂本教授が現代詩で受賞　本学の坂本悠貴雄文学部教授（31院英）は、このほど第64回コスモス文学新人賞奨励賞（現代詩部門）を受賞した。

和歌山弁護士会会長に田中昭彦氏

和歌山弁護士会の一九九八年度の新役員が一月二十日選出され、新会長に校友の田中昭彦氏（八四）＝41学一法＝が選ばれた。四月一日付で就任し、任期は一年。

大阪弁護士会の副会長に2校友

校友の宇多民夫氏（五二）＝46院修私＝と大川哲次氏（五〇）＝45学一法＝は、一月十六日、来年度の大阪弁護士会副会長に選出された。

また、総会議長に藤村睦美氏（六一）＝34学一法、監事には岡田尚明氏（六一）＝34学一法＝、鈴江勝氏（五四）＝41学一法＝が、それぞれ選ばれた。

任期は四月一日から一年間。

衆院消費者問題特別委員長に前田氏

衆院は一月十二日、常任・特別委員会の新委員長を選出、消費者問題特別委員長に前田正氏（大阪4区、当選二回、五十一歳。44学応化）が選ばれた。

洗練された味と気軽な雰囲気

気持ちのあるフランス料理のお店
アミチェ心斎橋本店
旬の素材を生かし洗練されたフランスの味。校友の皆様に好評いただいております。下村八郎（39英文卒）
ランチ 11:00〜2:30 2,000〜5,000円コース
ディナー 5:00〜10:00 4,500〜10,000円コース
大阪市中央区心斎橋筋1-5-31 ラ・シーンビル6F
大丸本館と南館の間東へ30m右側
06-251-3076 無休

フランス田舎料理 パリの裏町にあるビストロの味
ビストロ・アミスター淀屋橋店
ランチ 11:00〜2:30 1,000〜2,500円コース
ディナー 5:00〜10:00 3,000〜6,000円コース
京阪淀屋橋駅きっぷ売場前 NEXT-1,2F 06-227-4160

フランス田舎料理 フランス田舎町のビストロで味う地方料理
ル・ビストロ・アミチェ クリスタ長堀店
ランチ 11:00〜2:30 1,500〜3,000円コース
ディナー 5:00〜10:00 3,900〜6,000円コース
クリスタ長堀 占い広場西 06-282-2056

分析と環境のスペシャリスト養成校
平成10年度生募集
●応用分析化学科（ハイテク分析）
●生化学分析学科（バイオ分析）
●環境テクノロジー学科
●環境メディア学科
●環境システム学科
（2年制・男女・昼）
学校説明会 3/1(日) 9:00〜12:00　3/8(日) 13:00〜16:30
学校説明会 3/1(日) 13:00〜16:30　3/8(日) 9:00〜12:00
就職率100％実績校
学校説明会は希望校へお申込み下さい。学校見学随時受付
学校法人・専修学校 日本分析化学専門学校 〒530-0043大阪市北区天満2-1-8 06(353)0347
学校法人・専修学校 国際環境専門学校 〒660-0083 尼崎市道意町7-1-12 06(412)8461
入学案内書無料送付

THE ROLEX OYSTER

1926年に世界で初めて、真の防水時計が発売されました。
プラチナや金、またはステンレス スチールの塊から彫りぬかれた
継目のない丈夫なケースと、ケースそのものに
しっかりとねじこまれたトゥインロックリューズによって、完全に密閉できる
オイスターケースが発明されたのです。
小さく精密な機械は水や湿気、ほこり、ショックなどから守られ、
正確さを長く保てるようになりました。
そして他と異なる特別な何かをもった時計を必要とする人々が選ぶのが、
ロレックス オイスターです。
SINCE 1872
変らぬ気品と信頼
大阪　心斎橋筋　時計　宝石
やぶ内時計舗
TEL (06) 211−1050(代)
関西大学校友カード提携優待店
営業時間 AM11:00〜PM8:00　定休日 第3水曜日
昭和35年法学部卒　藪内正明
関大校友特別優待券 (1-10.2)

●てっちり　●ハリハリ鍋　●くえ料理
徳家
年中無休（土・日・祝はお昼より営業しております）
大阪市中央区千日前1丁目7-11 上方ビル2F
TEL.(06) 211-4448

新会長に芦田副知事

副会長らも新スタッフ

兵庫県庁秀麗会

総会に150人が集う

OBも参加し再会喜ぶ

兵庫県庁秀麗会の平成九年度総会が、十二月二日午後六時半から神戸市北区の六甲荘で開催された。今冬一番の冷え込みの中、予定された百五十人の会員が集まり、和気あいあいのうちに始まった。

総会は、増田・知事公室総務課参事の司会で進められ、津田副会長が開会の挨拶。今年一年を振り返り、本年六月に退任した今井前副知事（平成二年十一月から会長）の労をねぎらうとともに、秀麗会の一層の発展を祈念した。総会の議事に入り役員の選任が行われ、新会長に芦田兵庫県副知事を選出したのをはじめ、副会長等新スタッフが、出席会員の拍手により承認された。

総会終了後、今井前会長に、これまでの感謝を込めて校友から花束と記念品が贈られた。

懇親会に移り、芦田新会長挨拶ののち、母校・校友会を代表して、中上副会長、神戸支部の奥村支部長、県議会の伊田会長から、それぞれ祝辞を受け、和気あいあいのうちに宴が盛り上がった。

来賓にはさらに校友会の辻見事務局長、神戸支部の豊田幹事長・野村副幹事長、県議会関大会から寺本、武田、門、羽田野、加茂、大野の各県会議員、そして顧問の竹谷、岩田、永田、北村の各先輩を始め、OB職員も多数駆けつけていただき再会の喜びを分かち合った。

懇親会半ばでは、新会員六人が紹介され、各々自己紹介でPRをする場面が宴をさらに盛り上げた。会場のあちらこちらで、学生時代の思い出、職場の出来事などに花が咲くなか、懇親会も終わりに近づき、最後は全員の学歌熱唱と万歳三唱により幕を閉じた。

新役員は次の各氏。

会長＝芦田副知事▽副会長＝津田公営企業管理者、斉藤防災監、畑都市住宅部長▽幹事長＝櫛笥農水部総務課長▽事務局長＝打越企業庁総務副課長▽会計＝四海知事公室総務課主査

（櫛笥享夫）

挨拶する新会長の芦田副知事

豫科修了50年記念の熔花会総会参加者

50年ぶりにストーム

熔花会

母校で20余人出席し総会

熔花会（昭和二十二年旧制大学豫科修了）の総会が十一月十五日正午から千里山キャンパス・新関西大学会館南棟四Fのレストラン「ボンプラット」で、豫科修了五十年を記念して開催された。

昭和十九年三月、太平洋戦争の真っただ中に入学、学業半ばで大半が学徒出陣。無事復員した者も戦後の混乱のため、学部入学を断念したり、故郷に近い他大学へ転学した者も多く、連絡可能者は七十人を切る。戦争中、全学年（百二十人）が全寮の生活を送り一つ釜の飯を食い生死を共にした心の友（親友）である。毎年全国から三分の一は会合に参加する。近年では札幌から小原正雄君が駆けつけてくれた。

今回も二十人余が出席した。学歌に始まり、物故者へ黙祷、幹事の挨拶の後、石川学長と校友会本部からのお祝いと歓迎のメッセージが披露された。学長メッセージは、同期で元本学教授（現徳山大学教授）有田君への友情を含んだものだった。

続いて母校で唯一人現職で活躍中の来住商学部教授から母校の現況について説明があり、一人々々の現況紹介の後、懇親会へ。

会の最中、久し振りにストームをやろうとの発議が起こった。会終了後、全員豫科の紋章入りの鉢巻きをしめ、関大豫科の大のぼりを中心に円陣を組み、豪気節に合わせてストームを敢行。弊衣破帽・高歌放吟の青春の日に回帰した。

人間形成を第一義とし、おおらかで物事にこだわらない豫科気質を育てた千陵の自然は、今は見ることはできないが、聳立する学舎群に母校の発展を実感し、さらなる雄飛を祈念しつつ帰途についた。

（谷本満壽夫）

北から南から

体育復権に熱い思い

新年互礼会に300人超える

体育OB会

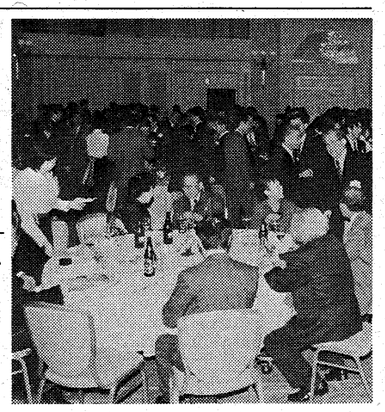
関西大学体育OB会新年互礼会は一月二十三日、北区・帝国ホテルで大西理事長、石川学長、寺西校友会会長を始め、関西学院、同志社、立命館の各体育OB代表らを来賓に迎え、さらに現役応援団の学生らも参加、総勢三百人余が出席して開催された。

福本昌三体育OB会長の挨拶で始まり、来賓の方々から関大スポーツの一層の隆昌へ貴重な励ましのことばをいただいた。石川学長は「体育の復権を」強く求めた。

全員が肩を組み合っての逍遥歌の合唱で大盛会だった新年互礼会を締めくくった。

なお体育OB会総会は三月七日午後一時から千里山キャンパスの一〇〇周年記念会館で開催する。

（船田征義）


大盛会だった新年互礼会

太宰府で交歓

来年は広島で会おう

秀麗寮士会二期会

秀麗寮で四年間生活を共にした昭和三十三年卒業の校友で組織する二期会が、十一月十五、十六の両日、二十四人が参加して福岡県太宰府市の国民年金保養センターで開かれた。

初日は午後四時博多駅に集合。車で六六三年白村江の戦いに敗れた大和朝廷が敵の侵攻に備えた防衛施設水城跡を通って宿泊所へ。

宴会は六時から当番幹事中西君の司会で進行。事務局石原君の同期生、母校の近況報告、名誉会長鉄井良男舎監さんの話、光安君の歓迎の挨拶に続いて、稲葉君の乾杯で始まった。昔話や情報交換、カラオケなど歓談が続いた。

三日目は九時から学問の神さま菅原道真公をまつる太宰府天満宮へ参拝。毛利元就の三男小早川隆景寄進の本殿や飛梅、菊花展に続いて太宰府政庁のあった都府楼跡を見学。千三百年の昔、太宰府は平城京や平安京の都と同じように、北の中央に政庁があり、真南に走る大路を中心に碁盤の目のような道路が走り、西都の中心として九州全体を治め、外国使節の往来で栄え、「遠の朝廷」と呼ばれたとのガイドさんの説明に修学旅行の様な気分を味わった。

この後、福岡タワー、福岡ドームを経て県民の憩の場大濠公園で昼食。「来年は広島で再会しよう」を合言葉に午後二時散会した。

（稲葉富義）

太宰府天満宮を参拝した参加者たち

天井会長を再任

弁理士試験合格の村松さんに記念品

弁理士関大会

今年度の弁理士関大会の定例総会は、暖冬の中ようやく本来の冷え込みとなった一月二十二日午後六時十五分から、肥後橋の徐園で開催された。来賓として岸井貞男公務員試験等受験研究会会長、辻見重行校友会事務局長をお迎えし、会員弁理士二十三人が出席したなかでの議事の進行となった。

天井作次現弁理士関大会会長の挨拶のあと、各幹事から本年度の事業報告がなされた。また次年度の弁理士関大会会長として天井氏が再任された。特に次年度は本会創立三十周年を迎えるため、天井会長の指示で本年度から設置された記念事業企画実行委員会の一層の活躍が約束された。

記念撮影のあと、懇親会に移った。最初に、岸井受験研究会会長が同研究会の現状について報告。また辻見事務局長から校友会の現況報告があった。続いてもれなく豪華景品の当たる恒例の福引が行われた。

懇親会が盛り上がったころ、本学出身で唯一人の本年度弁理士試験合格者である村松亮子さん（平5学一法）が、午後八時過ぎまで行われた弁理士会の新人研修の終了後に駆けつけて下さった。早速、天井会長から記念品が贈呈された。

最後に全員で逍遥歌を合唱して締めくくり、午後九時過ぎに閉会となった。

（原田洋平）

笑顔で記念品を受ける村松亮子さん

代表幹事に井上氏

考葦会

考葦会総会が年の瀬も迫った十二月十三日午後五時から肥後橋の徐園で開催された。

第一部では学歌斉唱、この年物故した真崎次郎、小林香両君に黙祷を捧げたあと寺西武校友会長の祝辞を受けた。型どおりの議事を済ませ第一部終了。

第二部は懇親会、恩師広瀬捨三先生の発声で乾杯し祝宴に入った。この会は昭和十八年予科入学の同期生の集いで、全員古稀を二つ三つ過ぎた者ばかり。年々出席者が減少するのが悩みの種だが、毎年絶やすことなく継続して行こうと話し合う。

宴酣（たけなわ）、予科の名物男ゴンベーこと山本俊雄君のリードで全員円陣を作って逍遥歌を合唱、辻見校友会事務局長の挨拶で閉会した。

東京三九会

毎年恒例の懇親会開く

首都圏支部連合会の同期会支部のひとつ「関大東京三九会」（川口満大代表＝39商）は、十二月一日午後六時半から都ホテル東京で定例の懇親会を開催した。

連合会から日根会長を来賓として迎え、会員も十三人が出席した＝写真。川口代表の挨拶・乾杯で開会。日根会長から連合会総会・名簿発行・就職事務所開設など一連の経過報告を含め挨拶をいただいた。会員は多種多様の職場第一線で活躍中で、近況報告、学生時代の思い出など懇談の花が咲き、ホテル心づくしの美味しい中華料理に舌鼓を打ち、カラオケで会はなごやかに進行した。

今回初めて企画した各人持寄り景品による福引会が行われ、ホテル宿泊券・ゴルフシューズ等、豪華景品が当たるたびに大歓声。大いに盛り上がり、宴会予定時間も超過し、別のカラオケルームに移るほど。会員から「年二回開催！」の声もあり、検討課題とし、十時半、別れを惜しみながら散会した。

「東京三九会」は、三九年卒校友の親睦を深め連帯の絆を強めるため、毎年十二月一日の夕刻から都ホテル東京で開いているものである。同窓校友の奮っての参加をお願いします。

（田中義一郎）

飛雲会

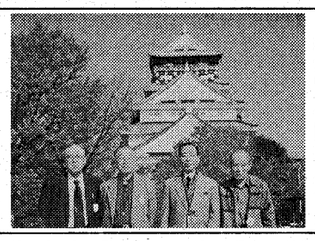
話題豊富に4人で総会

飛雲会（昭和十六年十二月専二商卒）は十一月十六日、梅田スカイビル三十九階レストラン燦宮で、四人が参加して昼食を共にしながら総会を開催した。

午前九時半から日交鬼太郎バスで、妖怪ワクワクコースに参加、大改修の大阪城、梅田スカイビル空中庭園、新設世界初マルチの大阪ドーム、環太平洋火山帯三万五千もの生物を集めた海遊館を見学した。

総会は、毎回通り行い、なおこの日、今まで考葦会運営に尽力された大野代表幹事が一身上の都合で辞任したので、井上武彦君が代表幹事として、事務局担当の森寿蔵君共々お世話願うこととなった。出席者は会員二十五人、来賓五人の計三十人であった。

（高田　明）


▶大阪城をバックに記念写真を撮った4人

JR関大会

総会参加者は多彩な顔ぶれ

JR関大会（山口貞雄会長）は、十月二十九日午後六時半から大阪弥生会館で平成九年度の総会を開催した。今回は西日本キヨスク㈱から七人の参加者があり、OB・新規採用・グループ会社合わせて四十三人の多彩な顔ぶれになった。

総会は、平成七年入社の森永君の指揮で学歌斉唱し、会長挨拶・会則改正の承認等の後、西山顧問の乾杯の音頭で和やかに懇親会が催された。あっと言う間に二時間が過ぎた頃、老いも若きも皆仲良く肩を組み合って逍遥歌を合唱し、高谷顧問の一本締めでお開きになった。

四月のスプリング・フェスティバルでの総会同様に「十月の年度総会」の定着を図り、会員相互の親睦と組織の活性化を進めたいと考えている。

（宮脇廣喜）

司法書士関大会

念願の会員名簿を発行

司法書士関大会は十二月四日午後六時からミヤコサロン大手前で、年末の多忙期にもかかわらず三十人が出席して平成九年度総会を開いた。来賓には校友会本部から中上副会長、藤本事務局次長を迎えた。

武島副会長司会のもと、行方会長から「念願だった会員名簿をみなさんのご協力で本年度発行することができた」と、挨拶。ついで中上校友会副会長から母校の近況、校友会の現状について説明があり、久しぶりに出席した会員の中から母校の大変貌ぶりに驚嘆の声が上がった。

懇親会に移り、高橋相談役から司法書士試験の現状が報告された。今回は若い会員の出席者、初めての参加者が多く、先輩たちと語り合う姿は、次代を担う意気込みが感じられ、頼もしい限りだった。

（高橋一夫）

挨拶する中上副会長

茨木支部が第1回ゴルフ関関戦

茨木支部（秋田豊藏支部長）は、十二月三日、茨木カンツリー倶楽部で関西学院同窓会茨木支部と第一回ゴルフ関関戦を開催、団体戦は関大、個人戦は関学と仲良く優勝を分けた。

両支部長の間で急に話がまとまったもので、関大十七人、関学十一人の"精鋭"が参加。好プレー、珍プレーを披露しながら和気あいあいの中に終了、表彰式と懇親会へ。

団体戦は上位七人のネットスコアの合計で、秋田支部長に優勝カップが贈られた。「次回大会から七十歳以上の参加者には一歳につき二打のハンデを加算」との提案や基本的に年一回開催を確認して散会した。

（斉藤勝幹）

第2回太田研OB会を開催

太田研OB会は、九月十四日、千里山キャンパスの一〇〇周年記念会館で三年ぶりの第二回OB会を開催した。

太田研OB会は、太田義一先生が三年前に工学部電気工学科を定年退職され、名誉教授になられたのを記念するとともに発足した研究室のOB会。

先生は工学部発足以来三十三年間、教鞭をとられ、研究室の卒業生は四百人を超え各界各層で活躍している。

今回は七十余人の校友と、太田先生と長年共同研究されOB会顧問の川田明専任講師を交え、懐かしくも賑やかな三時間を過ごした。思い出深い太田先生の名（迷？）講義を「誤認・誤解あれこれ＝言葉足らず。譬え話。数学的等価モデル＝」と題して再現していただき、みんなしばしタイムスリップ。また定年を機に奥様とのイタリア旅行をスライドも交えて報告。今なお強い好奇心が随所に伺えた。

全国各地から集まった校友たちが、久しぶりの顔合わせを喜び、仕事や家庭、大きく変容した母校の風景などを話し合い、盛り上がった。

三年後の二千年に第三回OB会開催を決め、学歌を斉唱し散会した。

（野上哲男）

池田支部第1回ゴルフ大会開く

池田支部（古川智支部長）は、一月十日、池田CCで十二人が参加して第一回ゴルフ大会を開いた。

上位入賞は次の各氏。

優勝＝中田満▽二位＝水本武▽三位＝松室猛

（斉藤勝幹）

福岡・北九州支部合同ゴルフ

福岡千里会と北九州支部の第三回合同ゴルフコンペが、十一月二十二日、福岡国際カントリークラブで総勢十二人が参加して開かれた。

あいにく雨が降り続く悪コンディションだったが、みんな必死の形相でプレーに集中。団体戦は北九州支部、個人戦も北九州支部の緒方好信氏（47工）が優勝した。

（坂口勝利）

関大二八会懇親ゴルフコンペ

昭和二十八年卒業生で組織する二八会の第五回懇親ゴルフコンペが十二月四日、前日の急激な冷え込みが嘘のような暖かい日和の愛宕原ゴルフ場で、二十三人が参加して開かれた。

プレー後の懇親会では、全員の一口スピーチをまじえ楽しいひと時を過ごし、散会した。

入賞者は次の各氏。

優勝＝三木憲三▽準優勝＝小坂道一、三位＝大西保一▽四位＝鎌口安英▽五位＝守谷忠司（三木憲三）

冬の山陰／香住港
味覚の王者・松葉ガニ
本場のかに料理
11月初旬～3月末迄（予約受付中）
ぜひ一度ご賞味下さい。ウィークデーのご利用は特別サービスいたします。
◆豊富な海の幸 荒磯料理
◆高級和牛のふるさと 但馬牛料理
その他ご予算に応じて料理致します。
山陰海岸国立公園（運輸省国際観光民宿）
海辺の宿 はまかぜ荘
香住生まれのOBが経営しております
ご予約・お問い合わせはお気軽にどうぞ
TEL 0796-36-0773 FAX 0796-36-1898
兵庫県城崎郡香住町下浜（香住駅から車で4分）

このたび、信州でペンションをはじめました。
信州・黒姫高原 スキー場徒歩1分
Pension 森のシンフォニー
オーナー／鎌田志朗（平成4年法学部卒）
交通／上信越自動車道信濃町ICより車約5分
JR信越線黒姫駅よりバス15分（送迎あり）
住所／〒389-1303長野県上水内郡信濃町黒姫高原 TEL026-255-4418

関西大学・教育後援会・千寿会ご下命店
学章型菓子（上用）謹製
和洋御菓子司
株式会社 昌月堂
〒556-0011 大阪市浪速区難波中3－13－28
電話（06）641－1666（代）
FAX（06）647－6478
夜間専用FAX（06）634－6565
近鉄百貨店上本町店・大丸大阪心斎橋店・大阪梅田店・神戸店・京都店・高島屋大阪店・阪急百貨店大阪梅田店・千里店・神戸店 各ブライダルサロン
大阪・神戸・京都・滋賀の有名ホテル・結婚式場
代表取締役 山本俊雄（千寿会会員）
常務取締役 山本雅巳（S53学1法卒）

確かな技術で未来を拓く、
トータルサッシプランナー
合同アーバス
株式会社 合同アーバス
代表取締役 中橋紀司（昭35学1経卒）
本社 〒538-0043 大阪市鶴見区今津南2丁目6-20
TEL 06（967）0574・FAX 06（967）1889
山陰営業所 〒693-0063 島根県出雲市大塚町1021
TEL 0853（21）1340・FAX 0853（24）2620

情報発信基地"ビレッジゲート"
「アメニティ・アミューズメント・アーバン」
未来への無限の夢と可能性に挑戦する神戸トヨペット。
信じられるクルマを。
マークⅡ

TOYOTA 神戸トヨペット
代表取締役会長 西村治三郎（商業学科 大正14年卒）
代表取締役社長 西村太一（法学部 昭和31年卒）
本社 〒652-8501 神戸市兵庫区水木通2丁目1－1
電話：078-576-5001
FAX：078-576-3651
インターネットホームページ http://www.kobetoyopet.com

スーパーチェーン
総合食料品・衣料品・家具
日用品・化粧品・喫茶軽食
株式会社 はやし
代表取締役 林太一（昭51法卒）
創立 昭和38年12月　資本金 35252.5万円
売上高 207億円（平成9年8月期）
本社 〒558-0033 大阪市住吉区清水丘2丁目11番25号
TEL（06）671－6655（代表）
FAX（06）674－4157

健康マラソン記

74歳の校友 田中良夫さん

49歳から走り始める 25年間に約3万6千キロ

両手を上げて声援に応える田中良夫さん（前列右端、平成9年5月4日、バンクーバー・フルマラソンで）

四十九歳から走り始めて七十四歳の現在まで二十五年間に走った距離は約三万六千キロ、地球一周も間近の元気いっぱいの校友から「私の健康マラソン記」が届いた。昭和二十七年に経済学部二部を卒業した元神戸市立大橋中学校長の田中良夫さんがその人。一部を紹介すると――。

中学の教頭をして四年目の昭和四十八年、人間ドックで慢性胃炎で胃下垂、糖尿病の疑いもあるとの診断を受け、病気をしたことがなかっただけに大きなショックを受けた。これを機に健康への強い意欲を持つようになり、走り始めた。

五百メートルから千メートルと徐々に距離をのばし、一カ月後には三キロメートルを楽に走れるようになり、体重も五キロ減った。

再度山の登山会にも入会。五時半起床で、中腹の茶店までの坂道を往復七キロ走るのが日課になった。退職するまで十年間に千八百日走った。

五十一年に神戸市の六甲全山縦走ウォーキング大会に初参加。以来、須磨から宝塚まで五十六キロを十四回完歩した。五十七年に初めて篠山ABCフルマラソンに出場。三十キロあたりから歩いては走る繰り返しながらも完走、タイムは四時間二十八分、参加者二千六百十九人中、千二百三十三位。満足だったし、嬉しかった。以後「篠山」は七年連続参加した。

五十九年に退職。住まいもユニバシアード記念陸上競技場近くの神戸のニュータウンに転居した。妻も走り始めたので、六十二年には夫婦でホノルルマラソンに挑戦。私は集団食中毒で走れなかったが、妻は完走した。平成元年、今度はニューヨークシティマラソン、四年メルボルンマラソン、五年ロンドンマラソン、七年には兵庫県民国際交流団の一員として西オーストラリア州のパースマラソンに参加。九年五月はカナダ・バンクーバーマラソンに夫婦で出場し完走した。

また平成元年には、神戸市公私立保育所訪問マラソンを計画。十日間で九十六カ所、延べ二百二十三キロを五十二時間で走破した。翌年は北海道サロマ湖五十キロウルトラマラソンを完走。この時、「来年は百キロだ」と決意。

平成三年七月七日午前五時スタート。休憩は長めにとり、氷水の中へ足を浸けて熱をとるアイシングや、足の裏のまめ防止テープの張り替えをこまめに行い、八十キロを過ぎてからは一分歩いて三分走るパターンを繰り返し、予定時間よりわずか六分遅れの十二時間二十一分で完走した。ゴールしたとたん、感極まって不覚にも落涙。

「継続は力なり」。この二十五年間にマラソン大会出場は二百十五回。うちフルマラソン三十四回、フルより長いウルトラマラソン十一回。走行距離は約三万六千キロ、あと少しで地球を一周することになる。そして走ることで得たものは、健康と多くの〝走友〟である。これからも大きな夢を持って楽しく走り続けたい。

'98スプリングフェスティバル

〈1面の続き〉

教室で総会・懇親会を

◆**団体の総会・懇親会**……校友会の登録組織をはじめゼミOB会、クラブOB会などが、総会・懇親会・現役との交歓会などを開催する場合は、大学の配慮により教室を会場として使用することができる。

但し事前に申し込みが必要で、団体名（催名）・連絡先住所・氏名・電話番号・予定参加人数等を校友会事務局まで（弁当など食事の団体予約については後述の生協本部食堂欄参照）。

なお、教室等を使用しない団体も、当日参加者全員に配付するプログラムには催し内容を掲載するので必ずご連絡下さい。

本紙三月号に総会等開催団体の連絡先を掲載

また、三月四日までに申し込みの団体については、本紙三月号（三月十五日付発行）に『総会・懇親会等開催団体一覧』として、団体名・集合時間・会場（教室番号）・連絡先氏名・電話番号を掲載し、参加呼びかけの一助とさせていただきます。

食事・弁当・飲物

◆**生協本部食堂**……和定食・洋定食・麺類・丼物をはじめお子様向けのメニューも用意。また、教室等で総会・懇談会を開催の場合や、桜の下でグループの歓談会を開催の場合には、弁当（お茶付・千円）やオードブル、飲物のほか、特別料理の予約もできる。希望のむきは関大生協飲食事業部（電話〇六―三六八―七五三一）まで直接申し込みを。

◆**レストラン紫紺**……一〇〇周年記念会館のレストラン紫紺では、喫茶・軽食を営業。

◆**レストランポンプラットとクークーハウス**……新関西大学会館南棟の四階にあるポンプラットは喫茶から本格的な食事まで楽しめる。三階のクークーハウスはピザとパスタの店。

◆**生協テント**……校友会受付テント近くの生協テントでは、弁当、缶ビール・ジュースのほか参加者の記念品にもなる校章入りの瓦せんべいやTシャツなど関大オリジナルグッズも販売する。

◆**問い合わせ**……'98スプリングフェスティバルに関する問い合わせは、すべて校友会事務局（電話〇六―三六八―〇〇四一～〇〇四六）まで。

大阪人化論

その85

水の都大阪と橋文化

工学部教授　堂垣　正博

（5）

〈最終回〉

都市の景観と橋

都市美と橋

大正から昭和初期の橋梁の設計の理念は、大阪市助役であった堀威夫氏の言葉にもあるように、「都市の橋梁は、特にまた、その美観にしばしば積極的に働きかけるという点を忘れてはならず、近代都市美への案内役でなければならない。」であった。

毛間の蘭門で淀川の本川から分かれて市中を流れる大川。さらに下ると、堂島川と土佐堀川（旧淀川）に分かれ、その間に中洲「中之島」が広がる。オフィス街に潤いを与え、市民の憩の場ともなっている水辺は、いつの時か知らないが、パリを流れるセーヌとシテ島になぞらえるようになった。

そこに架かる淀屋橋と大江橋は大正一三年のデザイン・コンペで一新され、また、肥後橋と渡辺橋は昭和二年にネオ・ルネサンス様式に架け換えられた。

これらは、都市の景観面から、橋梁が都市施設のなかでも重要な位置を占め、そのデザインが都市美を形成するとの認識のもとに設計されたものである。

震災復興と都市の再建

戦後、大阪は、空爆によって全半焼した一〇七と、戦中の維持管理不足で損傷の著しかった六〇〇余りの橋梁を修復せねばならなかった。

さらに、昭和二五年には、ジェーン台風が大阪を襲い、多くの橋梁が高潮によって被災した。これには、地下水の大量汲み上げによる地盤沈下も災いした。

したがって、昭和三〇年代前半までの間は、戦災の復興と地盤沈下対策という二つの課題を克服しながら都市の再建が計られた。

モータリゼーションの波

昭和三六年は時の首相池田勇人氏が所得倍増計画をスタートした年であったが、東京オリンピックを契機として、昭和三〇年代後半から始まったモータリゼーションの波が、自動車の急増と人々の生活様式を急変させ、都市空間の変容を余儀なくした。

これと相まって、高潮の弱点であった堀川が埋め立てられ、多くの橋が水の都〝大阪〟から消えた。

空き地は主として道路用地とされ、残る堀川上にも都市高速道路が建設され、かって船運によって輸送の一役を担ってきたそれは新しい輸送路に変貌することになった。

橋梁技術の発達とその功罪

車社会に呼応して、多くの橋が架け換えられた。都市高速道路に代表されるように、大量輸送に伴って、この間、機能優先の橋梁設計が推進されていった。その結果、橋も含めた周辺の景観は、ややもすれば画一的となり、個性的でなくなったように思う。

橋梁技術者として自ら活躍し、大阪市助役を勤めた近藤和夫氏は、三〇年代から四〇年代の橋梁技術の歴史を次のように振り返っている。

「昭和三〇年頃から四〇年頃までの間は、橋梁工学発達の上で過去のどの期間よりも卓越した一〇年であったことは、私自身が渦中の一人として断言し得る。また、この時期の大阪の橋梁技術も、先人の業績に劣らず、斯界にある程度貢献をなし得たものと確信する。しかし他方、情感溢れる都市建造物としての一面からみて、総てが肯定できるであろうか。道路交通を重視、実用に偏重したあげく、橋は〝近代的な都市美への案内役でなければならない〟ことを忘れ、橋梁技術者はアーティストとしての分野を蔑にしたとも言える。世界の経済大国への猛進と急激な構造工学の発達が相乗した歪みが、橋を含めた都市の機構化・人間性の喪失にあらわれたと言える。・・・。単なる技術・工学はそれ自身の進歩により順次過去のものとなり陳腐化するに反し、芸術は永遠にその時代を残す。」（近藤和夫、―三都の橋―大阪の橋、山河計画―橋―、一九七九年春号、思考社）。

このことに対する反省から、橋梁のデザインや環境に配慮した設計がなされるようになり、現在に至っている。

水の都〝大阪〟を代表する中之島界隈（写真参照）を散策した時、現代の都市空間に何を思い、橋を眺めて何を感じるであろうか。思うに、時々の社会環境を色濃く反映した都市が確実に変容している事実だけは十分に感じ取られるであろう。あまりの変貌に現代の科学を悲観的に思い、嘆き悲しむことはいとも簡単である。しかし再び太古の世界に還ることをけっして望んではいるまい。

土木技術者はよりよき社会を築くために日夜研鑽している。すべて、よりよき未来のために。

社会資本と文化遺産

イギリス、フランス、ドイツ、イタリアなど西欧諸国では、社会基盤は「文化である」、つまり、「それぞれの国の文化を象徴し時代を反映する文化遺産である」とされる。

文化庁は、平成三年から、明治以降のわが国の近代化に伴って築かれてきた様々な遺産を調査し、次世代のために、それらを保存しようとしている。土木学会も、時を同じく、土木遺産を調査している。

このような事業が次世代を担う若者達に夢を与え、より素晴しい文化を築くのに役立てばと思う今日この頃である。

美しい景観が楽しめる中之島遊歩道

エピローグ

平成九年度は、土木学会関西支部の創立七〇周年で、テーマ「大震災を越えて、土木文化の華を咲かそう」のもと、様々な行事が展開されている。

委員としてその企画に参画している私にとって、昨年は記念すべき年であったが、橋の発達史によせて大阪の土木文化論を本紙に連載させていただいたのは、本当に偶然のことであったのだろうか。

締めくくるにあたり、執筆の機会を与えていただいた関係各位に厚く御礼申し上げる次第である。

次々と新講座開設

エクステンション・リードセンター

昨年四月、天六キャンパスに設置されたエクステンション・リードセンター（センター長―佐々木土師二社会学部教授）は、一月現在で受講生は約千八百人を超え、受講希望の学生たちは上昇カーブを描いているが、実務的な資格取得を求める要望に応え、宅地建物取引主任者講座、通関士講座などを新設「英語」「情報処理」「司法試験答案練習」各講座もきめ細く対応するため新コースを設け、四月から八講座二十一コース体制で順次開講する。

各講座・コースの概要は別表の通りで、このうち新設の講座は①宅地建物取引主任者②一般旅行業務取扱主任者③通関士④秘書検定の四講座。いずれも学生のニーズの高いもの。

次に新設コースをみると、「情報処理」では、パソコン実践コースのステップアップとして高度な技術を習得するため「Excel」と「Word」の各パーフェクトコースを設けた。

「司法試験答案練習」は、既設の二コースに加え、新たに中級論文式答案練習コース「スタンダード答案練習会」と短答式模擬試験練習コース「択一答案練習会」を設けた。

さらに「英語講座」の国際企業派コース（TOEIC）を、到達目標を定めた七五〇・六五〇・五五〇点の「学位（博士）記授与」の記事中、「山名年浩氏」の肩書の「56学一経、…勤務」は「関西大学総合情報学部教授」の誤りでした。おわびして訂正します。

おわび　1月号8面掲載

平成10年度開講講座の概要

講座名	コース名	定員（年間）	今回募集人員	期間
英語講座	国際企業派コース（TOEIC）	325人	125人	4/23～7/2
	留学派コース（TOEFL）	150人	75人	4/24～7/7
	インターネット英語コース	120人	40人	4/25～7/11
	海外生活体験派コース	100人	50人	4/22～7/15
情報処理講座	パソコン実践コース	400人	150人	4/20～6/1 4/21～6/2 5/16～6/10
	システムアドミニストレータ・コース	100人	100人	4/21～10/6
	第二種情報処理技術者試験基礎知識コース	200人	100人	4/22～10/7
	第二種情報処理技術者試験プログラミングコース	200人	100人	7/14～9/8 7/15～9/9
	Excelパーフェクトコース	180人	30人	6/13～6/24
	Wordパーフェクトコース	180人	30人	6/27～7/8
就職講座	就職試験対策コース　スタートコース	280人	6月に募集予定	
	〃　直前コース	280人	10月に募集予定	
	マスコミ文章力養成コース	100人	100人	5/19～H.11年2/5
	就職体験学習コース準備講座	最大100人	4月に募集予定	
司法試験答案練習講座	エッセンシャル答案練習会（初級論文式答案練習コース）	80人	6月に募集予定	
	スタンダード答案練習会（中級論文式答案練習コース）	100人	（憲・民・刑）計50人	5/上旬～7/下旬
	択一答案練習会（短答式模擬試験練習コース）	100人	100人	6/上旬～H.11年5/下旬
	関西大学日曜答案練習会（上級論文式答案練習コース）	100人	10月に募集予定	
宅地建物取引主任者講座		80人	80人	4/28～10/13
一般旅行業務取扱主任者講座		50人	50人	4/23～10/8
通関士講座		50人	50人	4/24～10/14
秘書検定講座		100人	50人	5/6～6/19

自分史、会員誌、会社案内、歌集、詩集、記念出版などの編集から自費出版までお手伝いします。
編集・出版プロダクション（株）ジアース　THE EARTH
代表取締役 渡部里美　（昭和51年社会学部卒・探検部OB）
〒531-0073大阪市北区本庄西2-17-11 OST401
PHONE 06-374-2805　FAX 06-374-2942

特別協力金に感謝

全国の校友のみなさんに支援をお願いしている「特別協力金」は、一月末現在で七、四七二件、六八、〇五〇、九三四円。一月号掲載後寄せられたのは三〇件、三一八、〇〇〇円。

「特別協力金」は、一口五千円。振込先は「郵便振替口座番号　00930―2―55594　関西大学校友会」または、「大和銀行天六支店普通口座　22　00981　関西大学校友会」。校友のみなさんのご協力をお願いいたします。

氏名の後ろのカッコ内は一月号までの掲載分との合計金額。金額別・五十音順。（敬称略）

協賛者名簿

▼三万円
熊ノ郷恭一（六万円）
田中　和夫（三万五千円）
石田　公一（三万五千円）
鎌田　益廣（四万円）

▼二万円
林　邦生
徳田　恒光（三万二千円）

▼一万円
安岐　英一（三万円）
飯田　茂昭（三万円）
大矢　五朗（三万円）
貝和　義夫（三万円）
河口　雄三（三万円）
小谷口博行
斉藤　克己
坂上　善晴
貞利　政和（四万円）
髙田　喜次（三万円）
田中　正喜
東田外司彦
布川　廣志
古川　智（九万円）
横井　滋

▼五千円
木下　薩司
髙谷　治秀（一万五千円）
西島　忠男（一万円）
本多　浩（三万円）
匿名
匿名

▼三千円
花沢　芳文

▼二千円
髙塚　洋司（七千円）

▼一千円
山本　豊（四千円）

お悔み申し上げます

田辺　悟氏（たなべ・さとる―27学一法、元陸将補）は、平成9年2月7日、急性心筋梗塞のため死去。68歳。

上田　康夫氏（うえだ・やすお―45学一経、ミドリ安全㈱勤務）は、同2月12日、病気のため死去。49歳。

田中　光夫氏（たなか・みつお―14大法、元㈱福岡県内職センター事務局長）は、3月29日、肺炎のため死去。90歳。

沢波　満氏（さわなみ・みつる―47学一商）は、4月13日、病気のため死去。50歳。

北谷　和男氏（きたたに・かずお―44学一法、不二製油㈱勤務）は、6月13日、病気のため死去。50歳。

安田　継男氏（やすだ・つぎお―6専法、元東京生命保険相互会社常務取締役）は、7月28日、心不全のため死去。89歳。

関口　武丈氏（せきぐち・たけとも―40学一法、ホースニュース関西支社勤務）は、8月2日、死去。55歳。

住岡　士郎氏（すみおか・しろう―旧姓中尾、37学一法、元大和紙器㈱勤務）は、9月7日、心臓病のため死去。59歳。

小山　捨三氏（こやま・すてぞう―2関甲、元朝日ビール㈱勤務）は、10月27日、老衰のため死去。89歳。

豊田　敏男氏（とよだ・としお―29学一経、元スポーツニッポン新聞社大阪本社販売部次長）は、11月24日、脳挫傷のため死去。67歳。

三島　忠彦氏（みしま・ただひこ―35学一経、大志エステート代表取締役）は、11月25日、死去。61歳。

石田　節夫氏（いしだ・せつお―34学一新、元読売テレビ放送㈱資料部長）は、11月27日、敗血症のため死去。60歳。

渡辺　好章氏（わたなべ・よしあき―40学工化、自営業）は、11月30日、胃がんのため死去。55歳。

田岡　隆氏（たおか・たかし―13専二経、元共栄産業㈱社長）は、12月2日、脳疾患のため死去。83歳。

米原　宗一氏（よねはら・そういち―平6院博心、摂津市役所勤務）は、12月2日、下部胆管がんのため死去。49歳。

高橋　新吉氏（たかはし・しんきち―8大経、元大毎広告㈱代表取締役社長）は、12月7日、老衰のため死去。90歳。

松井　静郎氏（まつい・しずろう―5専法、元プロ野球・千葉ロッテマリーンズ球団社長）は、12月18日、腎不全のため死去。89歳。

竹下　光二氏（たけした・みつじ―51学一社、居酒屋スタンド三福経営）は、12月23日、くも膜下出血のため死去。45歳。

泉　正雄氏（いずみ・まさお―9専二商、校友会代議員、元法人関西大学理事、元白水化学工業㈱代表取締役会長）は、12月27日、心不全のため死去。86歳。

村山　弘氏（むらやま・ひろし―30学一政、元関西大学就職部次長、元法人評議員）は、12月27日、肝臓がんのため死去。64歳。

安井　利一氏（やすい・としいち―15専一商、元神戸市立西市民病院庶務課長）は、平成10年1月3日、病気のため死去。80歳。

因幡弥寿雄氏（いなば・やすお―39学一新、因幡電機産業㈱取締役社長）は、同1月4日、胃がんのため死去。56歳。

横山　敬氏（よこやま・たかし―62学一経、大阪南マツダ㈱勤務）は、1月4日、急性心臓まひのため死去。34歳。

西沢　馨氏（にしざわ・かおる―24大経、公認会計士）は、1月11日、腸がんのため死去。79歳。

山田正一郎氏（やまだ・しょういちろう―49学工電、大阪府立大学工学部勤務、関西大学非常勤講師）は、1月15日、くも膜下出血のため死去。46歳。

原田　永信氏（はらだ・ながのぶ―16専二法、弁護士）は、1月25日、呼吸不全のため死去。80歳。

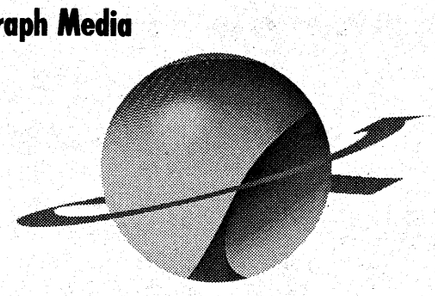
瀬川　靖夫氏（せがわ・やすお―38学一法、日新電工㈱代表取締役）は、1月26日、急性吐血性心不全のため死去。58歳。

松本　治雄氏（まつもと・はるお―25大経、大宝印刷㈱取締役）は、1月26日、肝不全のため死去。70歳。

ひきたて　うたて　ゆでたて
おそばの美味しい
家族亭へお立ち寄り下さい。
そば　うどん　家族亭
本　社　電話06-372-7475
東京支店　電話03-5202-0871

OKK　KKK　ABC
ダイヤモンドホーローバス・カーテンウォール
ダイヤモンドアルミバスユニット・鋼材判別器製造販売
赤井物産株式会社
高級染料及び中間物製造販売元
神戸化学工業株式会社
大阪興業株式会社
代表取締役　赤井常隆
本社　大阪市西区北堀江一丁目一一一八　〒550-0014　電話　大阪〇六（五三一八）三六二一代表　FAX　〇六（五三一八）三六二一五
東京支店　東京都千代田区東神田一丁目〇六幸保第二ビル八階　〒101-0031　電話　東京〇三（三八六二）五四七一代表　FAX　〇三（三八六二）五四七五
工場　静岡・神戸

TBC TABUCHI
水を結ぶチカラ。タブチカラ。
ひとと水を
ひたすらに結ぶチカラ。
それは、ひとを思い、
暮らしの平穏なありようを
実現する
TABUCHIのチカラであり
エネルギーと
ノウハウの集約です。
半世紀あまりの
TABUCHIのこれまでを、
さらにこれからに、
未来展望に沿った
明確なビジョンとテクノロジー、
これが恐達TABUCHIの
使命であり
アイデンティティなのです。
株式会社タブチ　本社・工場　〒547 大阪市平野区加美南2丁目1番56号　TEL 06-708-0150(代) FAX 06-706-0210
仙台・福島・高崎・土浦・東京・横浜・静岡・名古屋・大阪・広島・松山・福岡・鹿児島・沖縄



Graph Media
生活・情報・産業
印刷を通して考えます
いまはじまる印刷新世紀"グラフメディア"
東洋紙業株式会社
大阪本社：大阪市浪速区芦原1丁目　☎(06) 567-2111　〒556-8555
東京本社：東京都品川区南品川6丁目　☎(03)3450-2111　〒140-8670
営業品目：商業印刷 出版印刷 包材 ビジネスフォーム 磁気・ICカード エレクトロニクス関連部品
特殊印刷 企画・デザイン 映像メディア企画制作
http://www.toyo-s.co.jp/